

第41回ティーボール秋季大会 試合ルール

緑区少年野球連盟（運営部）

※今大会は新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言下での開催のため、無観客試合とします。

1. 試合は5回までとし、時間は30分とする。試合開始後30分を経過したら、新しいイニングに入らない。
(コールドゲームはなし)
2. 規定回数終了時点で同点の時は、規定時間内であれば、特別ルールを適用する。
特別ルールは、ノーアウト満塁、一塁ランナーは5回の最終打者、以下順次前の打者を一塁、二塁、三塁に配置し1回のみ行う。なお、同点の時はチーム代表9人による抽選とする。
三位決定戦、準決勝戦、決勝戦は時間に関わらず5回までとし、同点の場合は、特別ルール（1回）により勝敗を決定する。
3. 塁間は18.3m（塁間にはハーフラインを設ける）、内野側ファールラインは半径4.5m、ピッチャーサークルは、本塁より12.3mの位置を中心に、半径2mの円とする。
4. 本塁よりフェアウェーグラウンド内へ扇状に45mラインを作り、打球がノーバウンドで越えた時はホームランとし、それ以外で抜けた時は、2塁打（テイク2）とする。
送球によるボールデットも、テイク2とする。
5. 守備は9名、守備交代は自由、打者は登録メンバー全員が打つ。
6. プレー中ピッチャーへ返球し、ピッチャーサークル内でボールに触れた時、ボールデットとする。
ただし、走塁中の時は、ランナーに走塁権を与える。（塁間の1/2ラインを超えていること）
7. 守備側の監督またはコーチ（2名まで）は、フィールド内での指導は可。
なお、プレー中のボールに触れた時は、触れた時点で、ボールデット・テイク2とする。
攻撃側の監督、またはコーチは、コーチャーボックスでの指導を認める。
(指導者は選手に触れての指導はできない。)
8. 攻撃は3アウトまたは、打者9名でチェンジ。
9. 9人目の打者を迎えた時のアウトカウントは、2アウトとする。
また、9人目のバッターの打球がノーバウンド以外で、45mラインを超えた時は、テイク2とする
(2008.9改定)
なお、9人目の打者2アウト満塁の時、打球をピッチャーに返してボールデッドにした場合は、走者が塁間の1/2を超えていなくても押し出しにより得点を認める。(2009.2改定)
10. 走者は、打者がボールを打つ前に離塁はできない。
11. 2ストライク後の空振りは、アウト。
12. バント、および、ハーフスイングは空振りとみなす。
(フルスイングと認められない時は、空振りとみなす) また、ティースタンド部分を打ってボールを飛ばしても空振りとみなし、ストライクとコールする。(2009.2改定)
13. その他
 - 1) 試合開始前にメンバー表3枚を主審に提出のこと。
(打順で1~9番の中でいわゆるDHは認められない。)(2009.2追記)
 - 2) 選手は必ず背番号を付けること。
 - 3) ベンチに入れるのは、監督、コーチ2名、登録選手のほか、代表者、マネージャー、スコアラー

各1名とする。(チーム帽着用のこと)

ユニフォーム着用の場合の身だしなみはAクラス・5年生以下大会に準ずる。

- 4) 危険防止のため、ベンチ内に入れ使用できるバットは2本までとする。
- 5) 大会競技中に負傷等の事故が生じて、主催者はその責めを負わない。
- 6) 必ずスポーツ障害保険に加入のこと。
- 7) 主審、塁審および記録員は、当日試合を行うチームの審判員が行う。
- 8) 当日試合を行うチームの審判員は、試合開始60分前に来場しグラウンド作成等の準備を行う。
- 9) 試合消化の関係上、2連戦になる場合もある。
(この場合には10分間の休憩時間を取る)

【主審を行う上での注意事項】

- 1) ボールデッドのコールは、はっきりと大きな声をお願いします。
- 2) 本塁上でのクロスプレーがあるので、本塁へ向かう走者がある場合は、ティースタンドを邪魔にならない場所に移動させてください。
- 3) 進塁の可否を決めるのは、走者がハーフラインを越えるタイミングと、投手が返球をサークル内で触れるタイミングです。
両方がよく見える三本間のハーフライン近くまで移動し判断してください。
- 4) バッターボックスからはみ出して打つ、打者が散見されます。
特に後方のラインに注意してください。